

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願ひ-

現在、腎臓小児科では、本学で保管している診療後の診療情報等を使って、下記の研究課題を実施しています。

この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の研究内容の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。なお、この研究課題の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身またはお子さまの診療情報等を「この研究課題に対しては利用・提供して欲しくない」と思われた場合にも、下欄の研究内容の問い合わせ担当者までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

[研究課題名] 長期寛解後に再発した小児期発症ステロイド感受性ネフローゼ症候群に関する調査

[研究対象者]

2000年1月～2025年12月までの間に、腎臓小児科に通院または入院したネフローゼ症候群のうち無投薬で10年以上の寛解後に再発した患者

[利用している診療情報等の項目]

診療情報等、診療録から研究に用いる情報：年齢、性別、身長・体重、再発前の臨床病型、使用免疫抑制薬・投与歴、寛解期間、検査結果（血清アルブミン値、血清コレステロール値、血清クレアチニン値、血清IgG値、血清トランスフェリン値、尿蛋白値、尿クレアチニン値、尿中IgG値、尿中トランスフェリン値、超音波検査結果）、再発後の予後、再発後に使用した免疫抑制薬

[利用の目的] （遺伝子解析研究：無）

長期間の寛解後に再発したネフローゼ症候群患者の特徴について解明することを目的としています。

[研究実施期間] 倫理審査委員会承認後より2029年1月までの間（予定）

-----  
[この研究での診療情報等の取扱い]

本学倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした診療情報等には氏名、生年月日等の情報を削り、個人が特定されることがないように加工をしたうえで取り扱っています。

[機関長、研究責任者、および、研究内容の問い合わせ担当者]

機関長：東京女子医科大学 理事長 清水治

研究責任者：東京女子医科大学 腎臓小児科 教授 三浦健一郎

研究内容の問い合わせ担当者：東京女子医科大学 腎臓小児科 安藤太郎

電話：03-3353-8111（応対可能時間：平日9時～16時）